

滝川のあたらしい学校づくり



ニュースレター vol.1

このニュースレターは、滝川第一小学校の建替えに向けた検討状況をお知らせするものです

新しい学校づくりに向けて検討をスタートしています！

今ココ



基本計画では、新しい学校の規模や部屋数、教育の考え方などを整理していきます。

2025年度は先生たちへの聞き取り調査をベースに行いました。今後は市民の皆様とのワークショップの実施を検討しております。多くの意見を取り入れ、滝川市にふさわしい学校の在り方を考えていきます。

トピック

小学校の先生に「こんな学校になるといいな！」を聞きました！

昨今の教育環境における課題を明確にするために、市内小学校6校の管理職および主幹教諭15名と先生2名(希望者)を対象にインタビューを行いました。また、市内小学校の先生たち153名を対象にアンケートを実施し、58名から回答をいただきました。

回答結果をもとに、新しい学校のあり方を検討していきます。



調査概要	1 先生たちへのヒアリング	2 先生たちへのアンケート
実施期間	校長、教頭、主幹教諭:2025年10月28日~11月6日 希望者:2025年12月23日	2025年11月13日~11月28日
実施方法	対面のヒアリング	web フォームによるアンケート
対象	校長・教頭・主幹教諭・希望者のみなさん 参加者:17名	先生たち153名 回答件数:58件
伺った内容	・子どもたちの多様な特性をいかすには学校はどうあるべきか ・「教わる」から「学ぶ」へ変えるために必要なこと ・働き方改革について	・開かれた学校づくりについて ・滝川市の学校の特色について ・新しい学校への想いについて

意見の詳細は裏面へ

新しい学校への先生たちの想い

先生たちへのインタビュー・アンケートでいただいた想いやアイデアを一部ご紹介します！

子どもも大人も安心安全に過ごせる学校にしていきたいです。地域へ愛着や誇りを持てるような学校づくりを目指したい！



教育方針に合ったいろいろな居場所ができるとうれしいですね。子どもたちが一人でも、グループでも居心地の良い場所があると嬉しいです。



各質問への先生たちのコメント

子どもたちの多様な特性を生かすには学校はどうあるべきでしょうか？

教育体制に関する意見

- 個別最適な学びを進めていくことが大切ですが、現実問題として人材不足が挙げられます
- そのために「見通しの良い広い空間」を作ることによって少ない人数でも目が行き届くようにしたり、地域コーディネーターや外部の人材と連携する必要があると考えます

施設・設備整備に関する意見

- 子どもが落ち着ける個室や、デンのように囲われたような場所、あるいはリラックスできるソファを設置するなど、子どもの状態に合わせて選べる多様なスペースがあると良いと思います



子どもたち自身が「教わる」から「学ぶ」へ変わるために必要なことは？

教育体制に関する意見

- 先生が一方向的に知識を教え込むのではなく、子どもたちの自立的な学びを支援し、適切な問いかけをする「コーチ」や「伴走者」としての役割へ意識を変えることで、新しい学びの形へ繋がると思います

施設・設備整備に関する意見

- 教室内だけでなく、広い廊下、階段下のスペース、壁面の図書コーナーなど、校舎内のあらゆる場所に学習のきっかけを点在させ、子ども自身が居場所や学習場所を選べるような「余白」が必要だと考えます



先生たちの働き方改革についてのご意見やアイデアはありますか？

教育体制に関する意見

- 先生の連携を深め、心理的安全性を高めるために、気軽に雑談ができる休憩スペースなど、心身のゆとりを持てる環境づくりが不可欠です

施設・設備整備に関する意見

- コンパクトな動線や、可動式プリンターの配置、教室への Wi-Fi 環境整備など、移動時間ロスの削減をすることが業務効率化に繋がります



地域に対して開かれた学校づくりをするために学校はどうあるべきだと考えますか？

教育体制に関する意見

- 地域住民や企業など、先生以外の人材が関わることは、学習意欲を高め、実体験を通じた深い学びに繋がります

施設・設備整備に関する意見

- 学校開放は望ましいが、セキュリティと管理責任の所在をはっきりさせる構造が必要です

